

科目名	看護研究概論 Introduction to Nursing Research		担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 菱沼 典子 (201) 大川 明子 (305) 小池 敦 (510) 中西 貴美子 (205) 小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	玉田 : akira.tamada@mcn.ac.jp 菱沼 : michiko.hishinuma@mcn.ac.jp 大川 : akiko.okawa@mcn.ac.jp 小池 : atsushi.koike@mcn.ac.jp 中西 : kimiko.nakanishi@mcn.ac.jp 小松 : misa.komatsu@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次前期	科目区分	共通科目 I		選択区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
科目目的	看護実践の場において専門知識・技術の向上や開発を図るために必要な研究の概念や意義、研究プロセス、文献活用の意義とクリティーク、量的・質的研究方法の基本、研究での倫理的配慮を理解し、研究計画書を作成するための基礎的能力を修得するとともに、研究成果を内外に周知するための学術論文の文章作法やプレゼンテーション方法についても学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
到達目標	1. 看護研究の概念および意義が理解できる。 2. 文献検索およびクリティークができ、研究計画書の作成方法について理解できる。 3. 看護における代表的な研究方法(質的研究・量的研究)の基本について理解できる。 4. 看護研究における倫理的配慮の必要性および研究倫理審査申請書作成の留意点について理解できる。 5. 学術論文の文章作法およびプレゼンテーション方法について理解できる。											
成績評価方法 (基準)	授業におけるディスカッションへの参加や課題発表の内容、および課題レポート等により、担当教員が協議のうえ総合的に判断します。											
教科書	なし											
参考書等	1) APA: APA論文作成マニュアル(第2版)、医学書院、2011. 2) イアン・K・クロンビー、津富宏訳: 医療専門職のための研究論文の読み方、金剛出版、2007. 3) 山川みやえ・牧本清子編: よくわかる看護研究論文のクリティーク、日本看護協会出版会、2014. 4) 南 裕子編: 看護における研究、日本看護協会出版会、2008.											
受講者へのメッセージ	看護専門職としての研究活動が継続できるよう、看護研究に関する興味と理解を深める機会にしてください。また他の専門分野の学生と共に学ぶ貴重な場ですので、積極的に情報交換をしていきましょう。											
備考	オムニバス形式で、原則として時間割に示された曜日・時限で授業を行います。担当教員の都合により変更する必要性が生じた場合は、事前に受講生に相談します。											
回	学習項目		学習内容				主担当教員	授業方法				
1回	看護研究の概念と意義		オリエンテーション(玉田) 看護専門職者が行う研究の意義やあり方について、看護ケアを受ける患者および看護ケア提供者の課題を、体系的に探求・検証する方法を学ぶ(学長特別授業)。				菱沼	講義				
2回	研究のステップ① 研究プロセスの概要 研究デザイン		研究プロセスの概要および研究デザインなどについて学ぶ。研究計画書作成に必要なリサーチアクションの立て方、概念枠組みの構築、仮設定、研究デザインの選択について学ぶ。				大川	講義				
3回	研究のステップ② 文献検索Ⅰ		文献検索において論文の種類、引用・被引用参考文献とは何かを学ぶ。(学外協力者招聘)(3回、4回は2コマ連続)				大川 招聘講師	講義				
4回	研究のステップ② 文献検索Ⅱ		研究対象とする事象を十分に把握するための文献検索(医中誌Web・PubMedを使った情報収集、検索式の立て方など)について学ぶ。(学外協力者招聘)(3回、4回は2コマ連続)				大川 招聘講師	講義				
5回	研究のステップ③ 文献クリティーク		文献クリティーク・文献レビューの方法について学ぶ。課題: 所定の論文をクリティークする(第14回発表)。				大川	講義				
6回	量的研究① 看護研究における位置づけ		看護研究において、量的研究を行うことの意義について学ぶ。量的データの長所・短所について学ぶ。				小池	講義				
7回	量的研究② 研究方法		量的データを扱う研究方法の種類、研究計画について学ぶ。特に、データ収集(質問紙法)方法について学ぶ。				小池	講義				
8回	量的研究③ 分析方法と結果のまとめ方		量的データのまとめかたについて学び、量的データに関する主だった分析方法(記述統計、推測統計、多変量解析など)についての理解を深める。				小池	講義				
9回	質的研究① 質的研究の特徴		質的研究の特徴、主な研究手法(質的記述的研究、グラウンデッド・セオリー、エスノグラフィー、現象学、事例研究、アクションリサーチ)について学ぶ。				小松	講義				
10回	質的研究② データ収集		データ収集の手順・方法(サンプリング、インタビューガイド、インタビューの技法、参加観察等)について学ぶ。				小松	講義				
11回	質的研究③ データ分析と論文にまとめる際の留意点		データ分析の手順・方法、分析の際の留意点、質的研究の評価基準、論文にまとめる際の留意点等について学ぶ。				小松	講義				
12回	看護研究の倫理① 研究倫理の基本原則と倫理指針		看護研究における倫理的配慮の必要性について学ぶ。倫理原則や倫理指針を研究に活用することの重要性を学ぶ。課題: 課題論文を読み、研究方法において倫理的に配慮すべきポイントを抽出する。また「看護研究において不正行為が起こる可能性」について考えを整理する。				中西	講義				
13回	看護研究の倫理② 看護研究における倫理的問題		看護研究の各段階において注意すべき倫理的問題を学ぶ。研究倫理審査申請書作成時の留意点について学ぶ。				中西	講義				
14回	文献クリティークの実際 第5回課題発表		第5回の課題の発表およびディスカッションを通して文献クリティークの実際を学ぶ。				大川	講義				
15回	看護研究のまとめ方		学術論文の文章作法について学ぶ。論文の構成や文章表現、図表の効果的活用、口頭発表やポスター発表時のプレゼンテーション方法について学ぶ。				玉田	講義				